

単元名 1 深まる学びへ ―文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する 配当時間 4時間

単元の目標 (1) 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。
(2) 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、「修学旅行記」の構成を工夫することができる。
(3) 進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し「修学旅行記」にまとめようとする。

標準的な展開例

12210106_001

【準備等】修学旅行に関する情報、清書用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 修学旅行記にまとめたい内容を精選し、ふさわしい文章形態を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本教材の目標と学習の流れを捉える。 ★ 修学旅行記にまとめたい内容を精選し、伝えたい内容にふさわしい文章形態を選ぼう。 「目標」や「学習の見通しをもとう」で本教材のねらいを確認し、学習の見通しをもつ。 ○ 修学旅行で心に残った出来事や場所、出会いや発見などの自分が伝えたい題材を挙げ、取材メモを作る。 ○ 編集会議を開き、取材メモをグループで整理し、掲載する記事の内容や順序などの大枠を決める。 ○ グループで案を出しながら、伝えたい内容を効果的に伝えられる文章の種類や、文章に添える図表や写真について話し合い、担当するページを決める。 <p>2 紙面構成を考えて下書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 文章の種類に合った紙面構成を考え、下書きをしよう。 ○ 担当箇所について不足している情報を、書籍やインターネットから集める。 ○ 文章の種類に合わせて、内容や順序、図表や写真の配置などを工夫し、分かりやすい紙面構成を考え、下書きする。 <p>3 下書きを読んで助言し合い、清書する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 魅力的な紙面となるよう助言し合い、構成や表現を工夫しながら文章や作品をまとめよう。 ○ グループで下書きを読んで助言し合う。 ○ 助言をもとに文章、作品を推敲し、清書する。 <p>4 修学旅行記をまとめ、互いに評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 修学旅行記をまとめ、互いに評価しよう。 ○ 修学旅行記を冊子にまとめる。 ○ 互いに読み合い、評価する。 ○ 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 (p. 34) の目標や学習の見通しをもとによって、この教材の目標と学習の流れを捉えさせる。 ・ 付箋を使用する。 ・ 修学旅行のしおりや見学場所のパンフレットなどの資料を見返して、書きたい題材を挙げさせる。 ・ 「目次の例」(p. 34)や「情報整理の方法」(p. 239)を参考にする。 ・ 読み手に伝えたい内容を明確にして、ふさわしい文章形態を選ばせる。 ・ 「①文章の種類を決める」(p. 34)や「グラフの活用／引用・出典」(p. 244)を参考にする <p>【評】文章の種類について話し合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点で手元にある情報を整理させる。修学旅行のしおりやパンフレットなどから必要な情報を選ぶ。 ・ 同じ題材でも、文章形態によって必要な情報が異なってくることを実感させたい。 ・ 情報を集める際には、必ず出典を記録しておくよう指示する。 ・ 「②紙面構成を考え、下書きをする」(p. 35)や「修学旅行記の紙面例」(p. 36),「紙面作成のポイント」(p. 37)を参考にする。 ・ 「語彙を豊かに」(p. 284)を参考に、内容を的確に伝える言葉や表現についても工夫させる。 <p>【評】紙面構成を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポイントや評価の基準をまとめたチェックシートを用意し、参考にさせてもよい。 ・ 「魅力的な紙面を編集するには」(p. 37)の観点を参考にして、互いの下書きをチェックさせる。 ・ 総合的な学習との連携で、十分な時間を確保することが望ましい。 <p>【評】文章の構成や表現を工夫する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 表紙や目次、前書き・後書き、奥付などを分担して書かせる。 ・ 評価の基準をまとめたチェックシートを用意し、互いに評価させる。 <p>【評】互いに読み合い、評価する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p>

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・どんな点に注意して文章の種類を選び、書いたか。・どんな点を工夫して編集したか。 | |
|---|--|

【 備 考 】

第3学年のスタートにあたり、第2学年までの学習を生かしつつ、言葉への気付きをより深いものにさせたい。詩や小説、古典を通して、言葉の力や豊かさに気付かせ、そこに描き出された人間の生き方についても考えさせたい。また、これらの学習活動を通して、第3学年での学習に対する意欲を高めることも念頭に置いて指導に当たりたい。

また、小説の登場人物も古典に描かれた生き方も、自分や社会と深い関わりをもっている。義務教育の最終段階として、読むことを通してより広い視点から人と社会の関わりについて考えさせ、第3学年での国語の学習の見通しをもたせたい。